



主題：叛逆天使の墜落 版画：リュカス・フォルステルマン 手法：エングレーヴィング  
寸法：546 × 424 mm 原画：焼失

## 現聖堂献堂20周年記念企画

### ルーベンス工房の版画家達による銅版画展

会期 第1部●5月22日～6月5日の日曜のみ展示  
第2部●6月12日～6月26日の日曜のみ展示

2007年秋、本郷教会信徒 千葉和子氏より「ルーベンス工房の版画家達」により制作された版画を寄贈いただきました。

ご存知の通り、フランドルの画家ルーベンス（1577-1640）は北方バロック美術を代表する巨匠として知られています。

膨大な作品を残した彼の特徴は、多くの弟子達を抱えた工房制作という一種の共同作業にあります。

ルーベンスの作品の多くは、工房版画家達（およそ100人はいたと言われています）の手により複製版画として残されました。

ルーベンスの原画作品は約800点に上りましたが、ルーベンスの直接監督の下に制作された作品も数多く、版画化によって、自身の作品の普及につとめるとともにこれらの作品の多様な広がりやルーベンスの根強い人気と幅広活動の跡を伝えているといえましょう。

これらの版画は1988年7月、町田市立国際版画美術館、1988年8月北九州市立美術館で開催された「ルーベンス工房の版画家達」に出品された作品の一部で大変貴重なものです。

千葉氏のご友人の山中房枝氏からこれ5点の版画をいただきましたが、宗教画ですので、ご自身が所有されるより、教会で観ていただく方が良いと考えられ、本郷教会に寄贈して下さったものです。

山中房枝氏の夫君、山中己充人（きみひと）氏（本名 希介）は、西洋古典版画（オールドマイスター）の大コレクターとして知られ、同時に絵画の解説者としても高名な方ですが、2008年4月帰天されました。

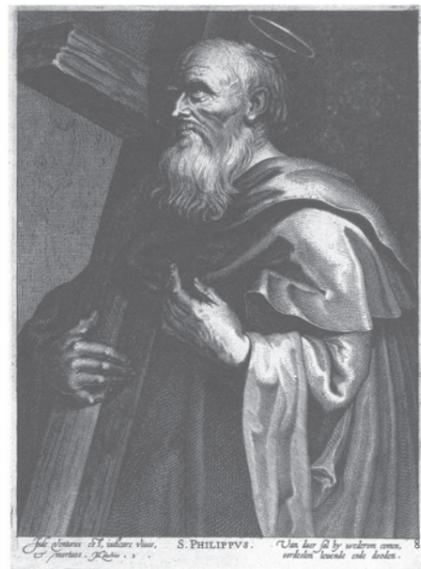
寄贈後、本郷教会図書室にて保管され、このたび、現聖堂献堂20周年の記念企画として採用され、皆様にお目見えすることになりました。

どうぞこの機会にじっくりと御鑑賞ください。

カトリック本郷教会管理者：浦野雄二神父

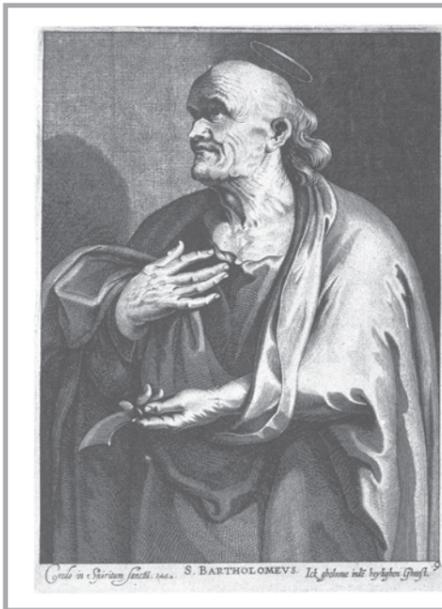
『ユスト』100号編集委員会

左  
 主題：聖小ヤコブ  
 版画家：ニコラス・レイクマンズ  
 手法：エングレーヴィング  
 寸法：198 × 140 mm  
 連作：キリストと使徒たち  
 原画：オリジナル マドリッド、ブラド美術館  
 工房作 ローマ、ガレリア・パラヴィチーニ



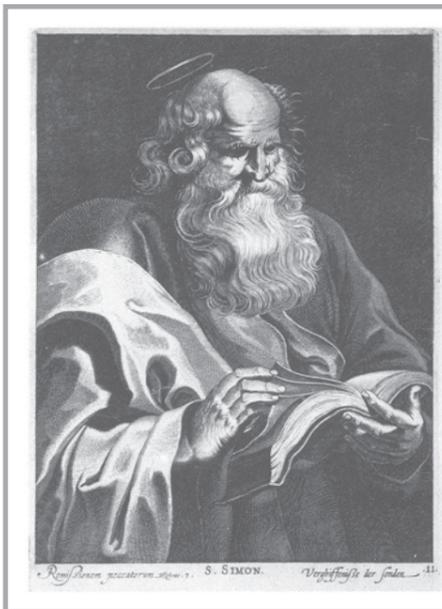
右  
 主題：聖ピリポ  
 版画家：ニコラス・レイクマンズ  
 手法：エングレーヴィング  
 寸法：198 × 140 mm  
 連作：キリストと使徒たち  
 原画：オリジナル マドリッド、ブラド美術館  
 工房作 ローマ、ガレリア・パラヴィチーニ

左  
 主題：聖バルトロマイ  
 版画家：ニコラス・レイクマンズ  
 手法：エングレーヴィング  
 寸法：198 × 140 mm  
 連作：キリストと使徒たち  
 原画：オリジナル マドリッド、ブラド美術館  
 工房作 ローマ、ガレリア・パラヴィチーニ



右  
 主題：聖マタイ  
 版画家：ニコラス・レイクマンズ  
 手法：エングレーヴィング  
 寸法：198 × 140 mm  
 連作：キリストと使徒たち  
 原画：オリジナル マドリッド、ブラド美術館  
 工房作 ローマ、ガレリア・パラヴィチーニ

左  
 主題：聖シモン  
 版画家：ニコラス・レイクマンズ  
 手法：エングレーヴィング  
 寸法：198 × 140 mm  
 連作：キリストと使徒たち  
 原画：オリジナル マドリッド、ブラド美術館  
 工房作 ローマ、ガレリア・パラヴィチーニ



右  
 主題：聖タダイ  
 版画家：ニコラス・レイクマンズ  
 手法：エングレーヴィング  
 寸法：198 × 140 mm  
 連作：キリストと使徒たち  
 原画：オリジナル マドリッド、ブラド美術館  
 工房作 ローマ、ガレリア・パラヴィチーニ



主題：キリストの埋葬 版画家：ヤン（ハンス）・ヴィトドゥック 手法：エングレーヴィング  
 寸法：360 × 488 mm 原画：なし



主題：エマオの晩餐 版画家：作者不詳 手法：エングレーヴィング  
 寸法：363 × 510 mm 原画：バリ、聖エウスタキウス教会、1611年以前  
 複製版画その1：スワーネンビュルフ版刻の銅版画、1611年  
 複製版画その2：ヴェンツェル・ホラー版刻の銅版画、17世紀半ば(?)